

## ◆基本目標4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち

①目指す姿1 「あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや介護予防の取組などに積極的に参加することで、誰もが生涯元気に過ごしています。」に向けた施策

【充実強化すること】高齢者等のフレイルや生活習慣病発症等の予防。健康行動を日常の中で自然に行える環境づくり。

- 市民や企業の健康への理解促進と健康づくりや介護予防などへの参加促進に向けて、高齢者等のフレイルや生活習慣病発症等を予防する取組の推進や担い手への支援を行うほか、やウォーキングなど各区の特色を生かした取組を推進します。
- 働く世代の健康増進に向けて、歩くことや食生活、禁煙等の健康行動を日常の中で自然に行える環境づくりを進めるなど、企業等と連携して健康に無関心な層へのアプローチを推進します。  
※「子どもの体力向上」の観点は「子ども・若者分野」に、「スポーツによる健康増進」の観点は「スポーツ・文化分野」に、「歩きたくなる空間の形成」の観点は「都市空間分野」に記載。

②目指す姿2 「誰もが生涯にわたって学び、また、学び直しをすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされています。」に向けた施策

【充実強化すること】生涯学習施設や図書館の機能。職業能力向上に役立つ学びやつながり。高齢者の就労促進。

- 多様な学びの機会の創出に向けて、生涯学習施設での新たな学びの創出や、ICTリテラシーを学ぶ場や支援する場として生涯学習施設等のICT環境を充実します。
- 職業能力向上やスキルアップに向けて、就労支援施設や図書館などにおいて、職業能力向上に役立つ学びやつながりの機会を拡充するとともに、札幌圏の大学と連携したりカレント教育を推進します。
- 身近な地域で学びを深められるよう、生涯学習の知の拠点として、図書館の機能を拡充するとともに生涯学習センターにおける地域の学びの活動をコーディネートする機能を強化します。
- 高齢者を中心とした市民に対して就労、社会貢献、生きがいづくりなどの社会参加に関する意識醸成を図るほか、まちづくり活動やボランティア活動などの地域社会活動についての学習や実践に向けた学びを推進します。
- 高齢者の就労促進や市内企業の人材確保に向けて、高齢者の就労意欲や企業の雇用意識の醸成を図るほか、高齢者と企業とのマッチング機能を強化します。



## ◆基本目標5 生活しやすく住みよいまち

①目指す姿1 「多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療や身近なかかりつけ医が普及しているなど、医療体制が整い、支援を要する方とその家族は、医療・介護・福祉の連携の下、適切な支援を受けています。」に向けた施策

【充実強化すること】高齢者、障がいのある方への居住支援。地域包括支援センターや区役所の福祉支援機能。認知症対策。ひきこもり対策。依存症対策。がん対策。地域全体での医療体制の整備。

- 多様なニーズに応じた住まいの確保に向けて、高齢者や子育て世帯、低所得者等への居住支援を行うほか、高齢者や障がいのある方向けの特別養護老人ホームやグループホーム等の整備を支援します。
- 複雑化・多様化する高齢者の課題に対応し、医療や介護などの支援を要する方の適切な把握に向けて、相談・支援の拠点として、地域包括支援センターや区役所の機能を強化します。
- 多死社会においても市民が不安なく暮らしていけるよう、増加が見込まれる墓地などの行政需要に対応するとともに、民間事業者等とも連携し、終活の普及啓発に向けた取組を推進します。
- 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現に向けて、早期診断・早期対応のための支援体制や権利擁護が必要な人への支援体制を整備します。
- 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、市民への自殺予防対策の普及啓発や自殺予防対策に関わる人々への教育を行うほか、ゲートキーパーの養成等を行います。
- ひきこもりの状態にある本人やその家族等が適切な支援を受けられるよう、相談窓口や家族への訪問支援・居場所機能を強化します。
- 依存症患者やその家族が地域で適切な支援・治療を受けられるよう、地域での支援体制を構築します。
- がんになっても安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるため、がんの予防、早期発見・早期治療や就労を希望する方への支援など、がん患者及びその家族等への支援などを含めた総合的ながん対策を進めます。
- 誰もが住み慣れた地域で安心して療養できるよう、がんや脳卒中、心血管疾患などの主要な疾病ごとの医療連携体制を構築するほか、入院医療機関やかかりつけ医と在宅医療、介護・福祉など、様々な主体の連携により、患者を地域全体で支える体制を構築します。
- 介護や障がい福祉サービス分野の人手不足の解消に向けて、人材の確保、定着及びサービスの質向上に向けた支援を行います。
- 障がいのある方の自立支援の促進に向けて、地域で生活していくために必要な訪問系サービスを提供していくほか、入所施設の入所者の地域生活への移行支援や就労支援を行います。
- 生活困窮者等の日常的・社会的・経済的な自立に向けて、相談支援や居所の確保、社会復帰に向けた支援を行います。
- 生活上の困難を抱える女性の孤独・孤立状態の解消や経済的な困難の解消に向け、アウトリーチ型の支援や相談支援を行うほか、ニーズに応じた就労支援等を行います。



## ◆基本目標5 生活しやすく住みよいまち

②目指す姿2「建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が進み、誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる環境が整っています。」に向けた施策

【充実強化すること】公共施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入。民間建築物等のバリアフリー化。バリアフリー情報の発信。

- 四季を通じて、誰もが円滑に移動することができる環境の整備に向けて、地下鉄駅などの旅客施設や道路、学校などの公共施設のバリアフリー化を進めるほか、タクシー・バス乗り場等の冬季の乗継機能強化を検討します。
- 民間施設等のバリアフリー化を進めるため、ノンステップバスやユニバーサルデザイン(UD)タクシー等の導入を支援するとともに、民間建築物等のバリアフリー化を支援します。
- 誰もが快適に利用できる環境の整備に向けて、区役所庁舎の待合スペース等にユニバーサルデザインを導入するほか、表示の多言語化を進めます。
- バリアフリー情報の更なる発信に向けて、地下ネットワーク等において、ユニバーサルデザインにも配慮した案内サインを充実させるほか、公共施設等のバリアフリー情報をオープンデータ化し、新たなサービスの開発を促進するなど、民間企業と連携した取組を推進します。

※「心のバリアフリー」の観点は、「地域分野」に記載。

③目指す姿3「誰もが申請や相談等の手続をオンラインで完結することができるなど、社会のデジタル化が進むことにより、官民によるサービスの利便性が高まり、市民生活の質が向上しています。」に向けた施策

【充実強化すること】行政手続きをオンラインで完結することができる取組。デジタル活用に不慣れな高齢者等への対策。官民データの活用。

- 市民サービスの向上に向けて、大型ごみの収集受付や市税の申告・納付などの行政手続きをオンラインで完結することができる取組を推進するとともに、区役所に総合案内を設けるなど、「待たせない」、「書かせない」をキーワードに窓口の利便性を向上します。
- デジタルの利便性を誰もが享受できる社会の実現に向けて、デジタル活用に不慣れな高齢者等に対して、学びの機会の提供や、デジタル活用をサポートする体制を構築するなど、民間事業者等と連携した支援を行います。
- スマートシティの推進に向けて、官民データの連携基盤の活用を推進するとともに、官民の協働により先進的なサービスを創出する体制を構築し、快適で暮らしやすいまちづくりを推進します。
- 地域課題の解決、行政施策の効果検証、立案等の実現に向けて、官民データの連携基盤を活用し、データの収集や可視化、分析を行うことによって、行政施策を高度化します。

④目指す姿4「市民・企業・行政の連携やICTの活用などにより、市民の多様な暮らしを支える交通環境が保たれているとともに、持続可能な除排雪体制の下で冬季の道路環境が確保されています。」に向けた施策

【充実強化すること】地域特性に応じた交通環境の維持・確保。冬季の道路環境の維持・確保。

- 地域特性に応じた交通環境の維持・確保に向けて、公共交通の利用を促進するとともに乗合バスの路線維持に取り組む事業者を支援するほか、地域の実情に合わせた持続可能な公共交通ネットワークの方向性を示す、地域公共交通計画を策定します。
- 冬季の道路環境の維持・確保に向け、ICT等を活用した作業の効率化・省力化や担い手の確保に向けた取組を進めるほか、バス路線排雪や歩道の凍結路面对策の強化を継続するとともに、雪堆積場の更なる確保を検討するなど大雪時の対策を強化します。
- 雪対策における市民や企業などとの協働の推進に向けて、関係機関と連携して、多様なツールを活用した広報や啓発を行います。

※「交通ネットワーク全体」の観点は、「都市空間分野」に記載。

